

施設名	松前港福山波止場		  松前波止場 出典: 松前町史						
所在地	北海道 松前町								
管理者等	松前港港湾管理者(松前町)								
施設種類・分野	港	選択式							
施設概要 (明治期との 関連含む)	明治期、蝦夷地第一の都市といわれてきた松前藩の城下町福山(現松前町)の商人、栖原小右衛門が私財を投じて建設されたのが始まり。松前城石垣の再利用材と北海道で最も初期の練積みコンクリートで築造された石積構造の堤体を有し、周囲を北前船のバラストとして使用された花崗岩の石柱で囲まれていた。北前船の栄華と近代土木技術への過渡期を後世に伝える遺構。(文献1より引用)								
築造時期	明治初期	時期詳細	明治8年						
関連人物	井上 喜三郎(工事の請負人)								
トピックス (特徴的エピソード)	明治2年、開拓使は交易船の入港を福山、箱館、江差の3港に限るとしていた沖の口制度を廃止。時を同じくして、小樽、浦河、寿都などの港が開港した。これまで、福山の交易を守ってきた制度が廃止された上、新たな港の開港によって、岩間にあり水深も浅いため良港とはいえなかった福山港に敢えて入る船は急減。多くの商人たちが福山から去り衰退の一途をたどる福山に残り、まちの経済を支えた地場商人、栖原小右衛門が福山港の整備の必要性を訴えつけた。栖原は私財と投じるとともに、町の有力者たちに呼びかけ、明治7年、波止場建設費のため寄付金を集め、明治9年、波止場は完成し、汽船や帆船も安全に入港することが可能となった。(文献2より引用)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	—	近代化産業遺産 (経産省)	—	世界遺産 (ユネスコ)	—
		その他の指定・認定		日本遺産					
その他 (関連資料、文献)	文献1: 北海道選奨土木遺産カード 文献2: 松前町史 (https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/kouhou/m8lgt80000004pp.html)								
管理者等のHP(URL等)	松前町 http://www.town.matsumae.hokkaido.jp/hotnews/category/170.html								